



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月8日

上場会社名 株式会社サイゼリヤ 上場取引所 東
 コード番号 7581 URL <https://www.saizeriya.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松谷 秀治
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員総務本部長兼財務部長（氏名） 潮田 淳史 TEL 048-991-9611
 半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	142,854	17.5	8,654	39.9	8,832	36.3	5,635	20.7
2025年8月期中間期	121,572	16.2	6,185	4.2	6,478	△0.1	4,669	82.8

(注) 包括利益 2026年8月期中間期 11,064百万円(198.0%) 2025年8月期中間期 3,712百万円(22.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	114.72	114.19
2025年8月期中間期	95.07	94.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期中間期	193,475	126,508	65.1	2,562.65
2025年8月期	179,446	117,157	65.0	2,373.55

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 125,899百万円 2025年8月期 116,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,000	15.7	18,200	17.4	18,300	15.8	11,800	5.7	240.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名） 、 除外 一社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期中間期	52,272,342株	2025年8月期	52,272,342株
2026年8月期中間期	3,143,751株	2025年8月期	3,167,912株
2026年8月期中間期	49,124,830株	2025年8月期中間期	49,111,490株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動	4
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、アメリカの通商政策による影響が残るものの、緩やかに回復しており、今後も雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されております。しかしながら、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ等が個人消費に及ぼす影響、中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響、アメリカの通商政策による影響は、引き続き、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、2月末には、イスラエル・アメリカによるイラン攻撃が勃発したことにより、エネルギー価格の高騰を含め、世界情勢は急速に不確実性を増しております。

外食産業におきましては、賃上げの効果等により、実質所得が増加に転じる中で、個人消費が増加し、消費マインドは持ち直しておりますが、一昨年より続く米価格の高騰や円安による食材価格の上昇、中東情勢の緊迫によるエネルギー価格上昇の影響は継続しており、引き続き、消費者マインドの動向に留意が必要な経営環境となっております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、世界中の人々においしくて健康的なイタリアの家庭料理を店舗で便利に楽しく食べていただくことを目指し、さまざまな施策に取り組みました。サプライチェーン構築のため商品関連部門の組織変更を行い、商品開発、調達、加工、保管、物流に関して、グローバルな視野で取り組むことができる組織へ変更しております。QRコードと顧客の携帯端末を使った注文方式の導入については、2025年12月末で、全店舗への導入が終了しております。今後もこのような取り組みを進め、お客様の利便性の向上と収益力の底上げを行ってまいります。また、新顧客獲得のために、国内では、忙しい朝もおいしくて健康的な朝食を楽しんでもらえるよう朝食限定メニューの販売を始め、順次、販売店舗を拡大しております。既存商品の品質向上のため、2026年2月にグランドメニューを改定しました。海外については、2026年1月には中国武漢に1号店を開店し、またベトナムについては3号店を開店したところであり、引き続き新規出店を進めてまいります。

これらの取り組みの結果、当中間連結会計期間の売上高は、1,428億54百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は86億54百万円（前年同期比39.9%増）、経常利益は88億32百万円（前年同期比36.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は56億35百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

「日本」は、一昨年から続く米価格の高騰や円安による食材価格やエネルギー価格の上昇の影響を受けておりますが、ストアコンディションを維持できる店内組織の構築、メニュー施策やDX活用の効果などにより、既存店の客数、客単価は増加傾向にあり、売上高は961億24百万円（前年同期比20.4%増）、営業利益は33億67百万円（前年同期比422.5%増）となりました。

「豪州」は、当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は61億52百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は2億1百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

「アジア」は、新規出店を継続的に進め、店舗数が増加したことなどにより、売上高は467億30百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益51億29百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は1,934億75百万円となり、前連結会計年度末と比較して140億29百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加9億40百万円、商品及び製品の増加18億74百万円、有形固定資産の増加105億91百万円などであります。

負債合計は669億66百万円となり、前連結会計年度末と比較して46億77百万円の増加となりました。主な要因は、リース債務の増加39億25百万円などであります。

純資産合計は1,265億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して93億51百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は65.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、680億92百万円（前年同期比4億78百万円の増加）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、140億54百万円（前年同期比24億87百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益84億59百万円、減価償却費90億17百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、98億91百万円（前年同期比5億59百万円の増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出93億43百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、67億28百万円（前年同期比7億24百万円の増加）となりました。これは、主にリース債務の返済による支出46億70百万円、自己株式の取得による支出9億99百万円、配当金の支払額14億87百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえて予想した結果、変動が生ずることとなったため、以下の通り修正いたします。

なお、2025年10月15日に発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

2026年8月期（通期）連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	276,300	19,000	18,700	12,400	252	63
今回修正予想（B）	297,000	18,200	18,300	11,800	240	40
増減額（B－A）	20,700	△800	△400	△600	—	—
増減率（％）	7.5	△4.2	△2.1	△4.8	—	—
前期実績	256,714	15,499	15,805	11,164	227	46

2026年8月期（通期）個別業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	186,000	12,700	8,600	175	21
今回修正予想（B）	204,000	14,800	10,500	213	92
増減額（B－A）	18,000	2,100	1,900	—	—
増減率（％）	9.7	16.5	22.1	—	—
前期実績	172,908	9,886	7,397	150	71

(連結業績予想修正)

個別業績予想を修正したことにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回る見込みです。

(個別業績予想修正)

売上高は、メニュー施策やDX活用の効果などにより既存店の客数・客単価は、引き続き増加傾向が継続することを見込んでおり、前回予想を上回る見込みです。しかしながら、上期は、米価格の高騰などの食材価格上昇の影響を受けており、粗利益率が前回予想を1.3ポイント下回り53.0%となりました。下期も、食材価格上昇の影響を引き続き受けることを見込んでおり、下期修正予想粗利益率52.3%(前回の下期予想粗利益率55.5%)、通期修正予想粗利益率52.6%(前回の通期予想粗利益率54.9%)としております。以上のことから、営業利益は前回予想を下回る見込みです。経常利益・当期純利益は、子会社からの配当額を見直したことにより、前回予想を上回る見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,152	68,092
売掛金	3,098	2,748
テナント未収入金	4,009	3,451
商品及び製品	15,011	16,885
原材料及び貯蔵品	1,876	2,785
その他	5,316	5,476
流動資産合計	96,465	99,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,039	34,751
機械装置及び運搬具（純額）	2,375	2,783
工具、器具及び備品（純額）	7,095	8,386
土地	6,830	6,861
リース資産（純額）	28	24
使用権資産（純額）	18,308	22,300
建設仮勘定	4,784	3,947
有形固定資産合計	68,462	79,054
無形固定資産	538	570
投資その他の資産		
敷金及び保証金	11,259	11,973
建設協力金	13	11
長期貸付金	30	30
繰延税金資産	2,540	2,294
その他	148	114
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	13,979	14,410
固定資産合計	82,980	94,035
資産合計	179,446	193,475

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,427	10,501
リース債務	8,154	10,216
未払法人税等	2,808	2,487
賞与引当金	2,109	2,512
資産除去債務	216	246
その他	11,603	11,769
流動負債合計	35,319	37,733
固定負債		
長期借入金	6,000	6,000
株式給付引当金	1,582	1,658
リース債務	11,052	12,915
資産除去債務	8,235	8,545
その他	99	112
固定負債合計	26,969	29,232
負債合計	62,289	66,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	11,932	12,246
利益剰余金	94,733	98,877
自己株式	△8,062	△8,603
株主資本合計	107,215	111,133
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	9,336	14,765
その他の包括利益累計額合計	9,336	14,765
新株予約権	605	609
純資産合計	117,157	126,508
負債純資産合計	179,446	193,475

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	121,572	142,854
売上原価	50,976	61,072
売上総利益	70,595	81,781
販売費及び一般管理費	64,410	73,127
営業利益	6,185	8,654
営業外収益		
受取利息	380	299
為替差益	139	96
保険金収入	9	12
補助金収入	70	89
その他	72	132
営業外収益合計	673	630
営業外費用		
支払利息	347	395
自己株式取得費用	6	3
その他	26	53
営業外費用合計	380	452
経常利益	6,478	8,832
特別利益		
固定資産売却益	578	10
新株予約権戻入益	48	42
特別利益合計	627	53
特別損失		
減損損失	193	251
固定資産除却損	44	112
店舗閉店損失	38	61
特別損失合計	276	425
税金等調整前中間純利益	6,829	8,459
法人税、住民税及び事業税	1,801	2,480
法人税等調整額	358	343
法人税等合計	2,160	2,824
中間純利益	4,669	5,635
親会社株主に帰属する中間純利益	4,669	5,635

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	4,669	5,635
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△956	5,429
その他の包括利益合計	△956	5,429
中間包括利益	3,712	11,064
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,712	11,064
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,829	8,459
減価償却費	7,627	9,017
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	240	297
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	64	75
受取利息及び受取配当金	△380	△299
支払利息	347	395
為替差損益 (△は益)	△140	△78
固定資産除却損	44	112
固定資産売却益	△578	△10
店舗閉店損失	38	61
減損損失	193	251
保険金収入	△9	△12
補助金収入	△70	△89
新株予約権戻入益	△48	△42
売掛金の増減額 (△は増加)	126	373
テナント未収入金の増減額 (△は増加)	1,218	558
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△848	△2,385
その他流動資産の増減額 (△は増加)	641	516
買掛金の増減額 (△は減少)	△527	△214
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△508	△106
その他	△41	57
小計	14,218	16,937
利息及び配当金の受取額	347	255
利息の支払額	△347	△395
法人税等の支払額	△2,731	△2,845
保険金の受取額	9	12
補助金収入の受取額	70	89
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,566	14,054

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,916	△9,343
有形固定資産の売却による収入	88	10
無形固定資産の取得による支出	△79	△110
敷金・保証金・建設協力金の支出	△543	△547
敷金・保証金・建設協力金の回収による収入	196	155
その他投資に関する収入及び支出 (△は支出)	△77	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,332	△9,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△941	△999
リース債務の返済による支出	△4,054	△4,670
配当金の支払額	△1,241	△1,487
ストックオプションの行使による収入	233	430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,003	△6,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△564	3,505
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,334	940
現金及び現金同等物の期首残高	71,949	67,152
現金及び現金同等物の中間期末残高	67,614	68,092

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	豪州	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	79,814	2	41,755	121,572	121,572
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,412	—	5,412	5,412
計	79,814	5,415	41,755	126,985	126,985
セグメント利益	644	216	5,335	6,196	6,196

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,196
セグメント間取引消去	△11
中間連結損益計算書の営業利益	6,185

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

不採算店舗の収益性の低下が見られたため、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において「日本」セグメント27百万円、「アジア」セグメント165百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	豪州	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	96,124	—	46,730	142,854	142,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6,152	—	6,152	6,152
計	96,124	6,152	46,730	149,006	149,006
セグメント利益	3,367	201	5,129	8,698	8,698

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,698
セグメント間取引消去	△43
中間連結損益計算書の営業利益	8,654

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

不採算店舗の収益性の低下が見られたため、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間において「日本」セグメント96百万円、「アジア」セグメント155百万円であります。